

平和への願いを。七夕提灯まつり

第1回



コロナ
収束

子供たちが描いた
オリジナル提灯を
30個展示！

ウクライナ
に平和

オリジナルの提灯で平和の願いを届けよう！（参加無料）

先着
30名

参加申込

【提灯配布】

6月18日(土)・19日(日) 10時～12時 根本自治会館

※未就学児及び小学生優先で先着30名 ※短冊はどなたでも利用できます。

提灯提出

6月26日(日)・27日(月) 10時～14時 根本自治会館

展示場所

7月2日(土)・3日(日) 10時～20時 根本自治会館前

7月9日(土)・10日(日) 10時～20時 國府神社作務所前

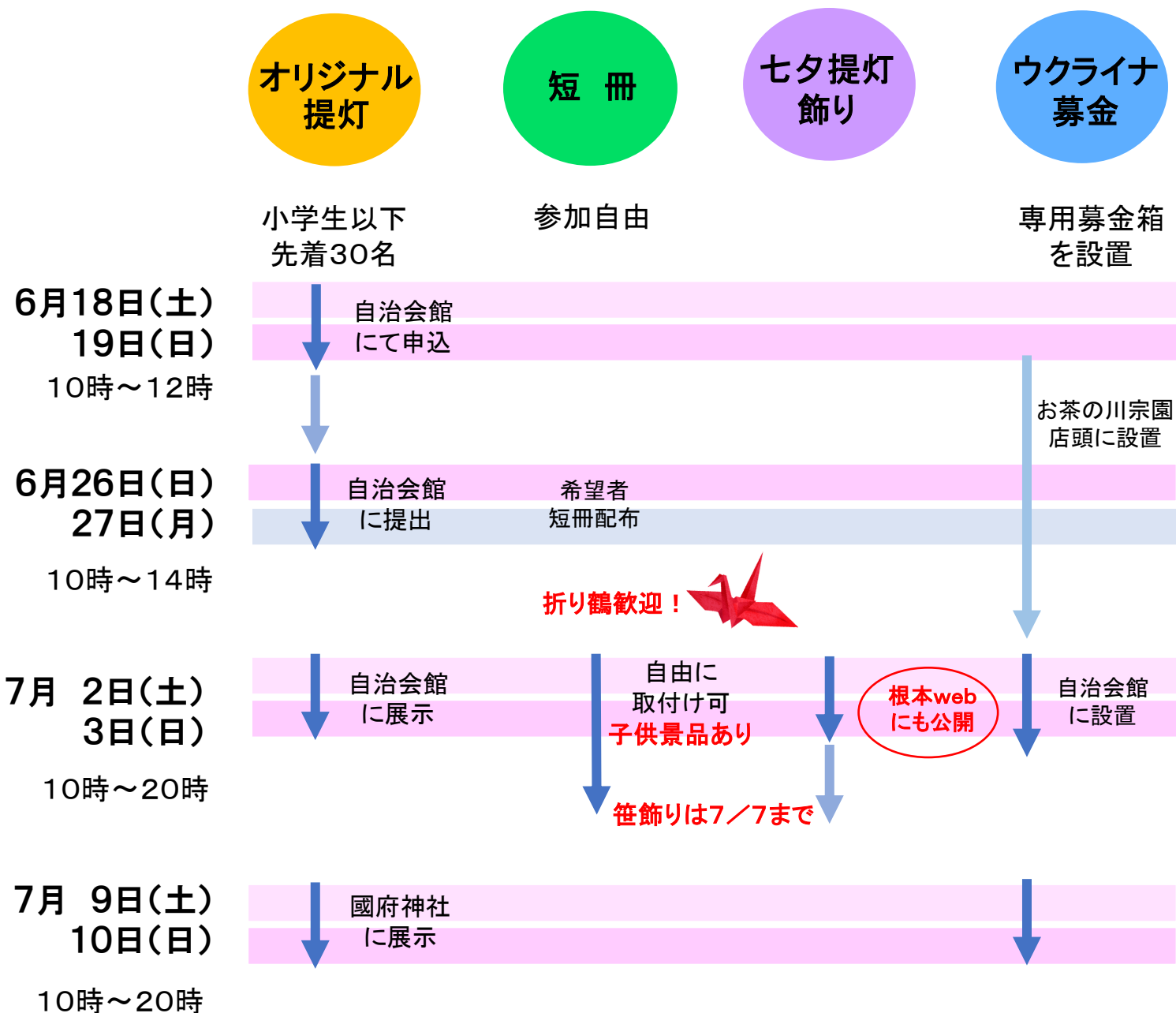
※強風・雨天中止

みんなで願う。平和への願い！

五節句の一つに数えられる七夕は、短冊に願いをこめて笹飾りをし、日本古来からの年中行事で庶民に愛されています。

コロナ禍、ウクライナ侵攻、世界的に平和や平穏が損なわれる今こそ、平和に願いをこめて、住民みさんで祈りましょう！

■イベント内容と日程



※運営上の都合で内容が一部変更になることもございますのでご了承ください。

■ウクライナ支援募金について

ウクライナ支援募金で集められたお金は、日本赤十字社・千葉県支部市川市地区(市川市生活支援課内)を通じて、「ウクライナ人道危機救援金」に寄付されます。



7月2日(土)3日(日)10時~20時 根本会館前



大型笹飾り



展示イメージ

- ・当日はご自由に、短冊に願い事を書いて笹に飾り付けください。
- ・短冊は事務所に多少用意はしていますが、自前のものでも構いません。
- ・折り紙を用意してますので、お子様と一緒に折り鶴も是非作ってください。
- ・七夕飾りは**7月7日(木)**まで展示しています。

7月9日(土)10日(日)10時~20時
國府神社にて展示します。

※雨天や強風の際は中止する場合がございます。

七夕のお話

七夕は子供の成長を願う「五節句」の一つとされています。
本来は宮中行事だった七夕は、江戸時代以降は季節の行事として一般に広まったようです。



七夕の言い伝え

七夕(7月7日)は、織姫と彦星が1年に1回だけ、
天の川で会えるとされています。

昔あるところに、神様の娘の織姫と、若者の彦星がいました。
織姫は機織りの仕事をして働いていました。彦星は牛の世話をしているしっかり者でした。やがて二人は結婚しました。すると、
今まで働き者だった二人は急に遊んで暮らすようになり、全く働かなくなってしまいました。

怒った神様は、二人の間に天の川を作って離れてしまいました。悲しみにくれた二人は泣き続けました。それを見た神様は、前のように真面目に働いたら、1年に1度だけ、二人を合わせてくれると約束しました。それから二人は心を入れ替えて一生懸命働くようになったのです。

そして、二人は年に一度だけ天の川を渡って会うことが許されるようになり、その日が七夕とされるようになりました。(諸説言い伝えがあります)

どうして短冊にお願い事を書くの？

昔の人が、織物の上手な織姫のように、「物事が上達しますように」とお願いしたのが始まりだと言われています。



赤の短冊 親や先祖への感謝を表すという意味があります。両親や親族に関する願い事に向いているとされています。

青の短冊 「礼」を表し、人間力を高める意味があります。自分自身の成長を願うものがおすすです。

黄の短冊 友情の色で、人間関係に関する願い事が適しています。

白の短冊 義務を守る心を意味し、自分の決め事を短冊に書くのがいいでしょう。

黒(紫)の短冊 勉強の色で、学業の向上や資格取得などの願い事が適しています。

七夕飾りの意味

吹き流し

織姫の織り糸を表し、織姫にちなみ、裁縫が上達するように願うといわれています

網飾り

魚を捕る網を表し、豊年豊作大漁の願いを込めて飾ります

折鶴(千羽鶴)

長寿を願い、長寿のシンボルである鶴を折り紙で折ります

